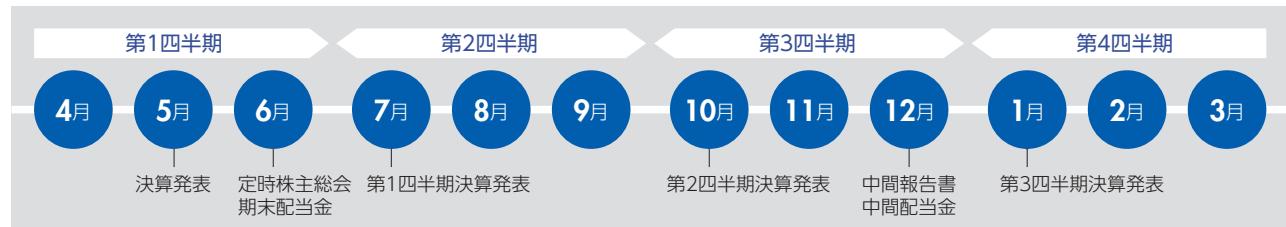


株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。

- **住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出下さい。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。
- **未払配当金の支払いについて**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。

IRカレンダー



株式会社 NITTAN
〒257-0031 神奈川県秦野市曾屋518番地
TEL:0463-82-1311 FAX:0463-82-7413

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

VEGETABLE OIL INK
環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。

株式会社 NITTAN

当社ホームページのご案内

<https://www.niv.co.jp/>

NITTAN 検索

当社の企業情報をはじめ製品情報や、株主・投資家向けのIR情報など、様々な会社情報を掲載しております。是非ご覧下さい。

トップページ



IRページ



「NITTAN Challenge 10」と 「新たな創造への挑戦」



NITTAN REPORT

第100期 報告書

2021年4月1日—2022年3月31日
証券コード：6493

INDEX

- | | |
|---------------------|-------------|
| 01 トップインタビュー | 06 連結財務諸表 |
| 05 特集
地域への貢献について | 07 セグメントの概況 |
| | 10 会社・株式情報 |

「何事に関してもシンプルに捉えて、スピーディーに対応する」をスローガンに掲げ、持続的な企業価値向上を目指します。



代表取締役社長 **李 太煥** (リ テーファン)

ごあいさつ

代表取締役社長に就任いたしました李でございます。当社は、熱間鍛造や熱処理、摩擦圧接による溶接や異種金属を溶着させる盛金など、多彩なコア技術を有する、歴史あるモノづくり企業です。自動車産業が100年に一度の大変革期を迎え、パワートレインの電動化シフトが加速する厳しい事業環境の中で、異文化の出身である私に、チャンスを与えてくださったステークホルダーのみなさまに感謝致します。

私は、1995年に入社しました。その当時から当社グループの課題は、収益性に対するこだわりやコンプライアンスに関する意識が弱く、経営の意思決定スピードも遅いと感じておりました。そこで、特にエンジニアリング的な視点から、開発や製造現場を中心とした業務の改善と意識改革に取り組んできました。

この厳しい事業環境で、社長に就任した私に期待されているのは、外国人の目で、こうした当社グループの課題を果敢に解決していくことだと感じています。頑張っ

ている人材のプロセスを重視する素晴らしい企業文化は継承してまいります。何事に関してもシンプルに捉えて、スピーディーに対応する。ここに力点を置いた経営改革を進めてまいります。

さらに、DXを導入したペーパーレス化や会議運営の効率化、自発的な行動を促す人材教育に注力し、指示待ち社員を撲滅するなど、これまでの社風や間接部門の変革などにも、積極的に取り組んでいきます。

当期の概況

2022年3月期(当期)の連結業績は、売上高が386億69百万円(前年度比11.4%増)、営業利益が19億63百万円(前年度比10,340.3%増)、経常利益が21億6百万円(前年度比460.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益が6億44百万円(前年度比3.8%減)となりました。前年度と比較して新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の影響から回復したことや、海外事業での為替換算による円安効果から大幅な増収増益となった一方で、親会社株

主に帰属する当期純利益は、期初計画では増益を見込んでおりましたが、今後の業績動向を踏まえた法人税等費用計上額の見直しや海外連結子会社の利益増加に伴う非支配株主に帰属する当期純利益の増加等より、前年度に比べ減益となりました。

当社グループが最も影響を受ける自動車業界の市場では、世界的な半導体などの部品不足や感染症の影響によるサプライチェーンの混乱と度重なる生産調整が続き、本格的な回復には至っておりません。小型エンジンバルブ事業では、国内の四輪車、二輪車、海外、そして汎用と全てで増収となりましたが、2023年3月期以降に向けて、アグレッシブな計画を組むことができない状況が続いています。

船用部品事業は、これから10年の需要サイクルの回復期に向かうことや、感染症の影響からの回復に伴うコンテナ船の需要拡大に伴って、2022年3月期(当期)も受注が拡大し、今後も順調な市場拡大が見込めます。

電動化の影響を全く受けない歯車事業は、売上は回復しているものの営業損失の状態が続いています。そこで、

連結財務ハイライト

■売上高(単位:百万円)



■営業利益(単位:百万円)



■経常利益(単位:百万円)



■親会社株主に帰属する当期純利益(単位:百万円)



■1株当たり当期純利益(単位:円)



「明日の歯車作りプロジェクト」を立ち上げ、生産性と品質の向上、さらに新規ライン構想まで視野にいたれた改革に着手しました。

PBW(パーキングブレーキ用部品)事業は、特定の機種に採用されているオートマチックトランスミッション用部品です。当期は増収となり利益を確保しましたが、今後の市場の状況に応じて生産体制の調整を視野に入れたお客様との交渉を重ねています。また、生産量が減少した場合は、「NITTAN Challenge 10」のVISION IIの量産スペースに転用することで、機械加工が難しいアイテム群の生産を効率よくできるための準備を進めています。

このような取り組みを進めていくことで、2023年3月期(今期)の業績見通しは、為替レート1USD=115円の想定のもと、売上高は427億90百万円(前年度比10.7%増)、営業利益は25億60百万円(前年度比30.4%増)、経常利益は25億60百万円(前年度比21.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は10億80百万円(前年度比67.5%増)を見込んでおります。

NITTAN Challenge 10について

当社グループでは、中長期経営ビジョン「NITTAN Challenge 10」を策定し、第2四半期決算発表時に、既存事業の進化を目指す「VISION I」、xEVへの開発推進を進める「VISION II」のアイテム群について、2025年までの開発・量産化のマイルストーンを発表しました。

「VISION I」のアイテムについては、順調に開発が進んでいます。底面鏡面化バルブは、2022年の8月から量産を開始する計画です。また、ハイパー中空バルブの開発もほぼ完了し、量産準備を進めています。船用油圧リフターも概ね順調で、船用中空バルブは、単純に温度を下

げて軽量化するだけでなく、船用の水素燃料エンジン、あるいはアンモニアガスエンジンにおいて有効なソリューションになるアイテムとして、市場開拓を進める段階に入りました。

同様に、「VISION II」のアイテムについても開発は順調に進んでいますが、今後お客様の反応や市場の動向などを見ながら、アイテムの追加や入れ替えが起きてくると考えています。あれだけ有能なイチロー選手も、現役当時の打率は3割でした。当社のように量産するアイテムの打率は、通常1割以下です。ですから、営業をかけてみた結果、開発中止や急遽開発を開始するような事態は避けられないのが実情です。

このようなアイテムの開発を支えていくためには、当社グループ内で独自の技術力と競争力のある生産ラインを構築する必要があります。そこで、新たにNMT(NITTAN

Manufacturing Technologies)プロジェクトを始動しました。現在、「VISION X」(愉快的開発)として、ゴルフパタープロジェクトを始めとした製品開発に挑戦していますが、こうした複雑な形状のモノづくりは、円筒加工によるバルブ製造をしてきた当社グループからみると、苦手な分野なのです。そこで、旋盤や研磨、研削、そしてマシニングセンタや複合旋盤、そしてロボットアームを活用するためのティーチング技術などを学ぶ道場を、協力会社と一緒に立ち上げ、若手社員を中心に、最先端の工法や技術を習得させ、社内でのノウハウ蓄積を進めています。

2022年4月、当社は「日鍛バルブ株式会社」から「株式会社NITTAN」へ商号変更しました。「既存概念に縛られない新たなアプローチによるものづくりの方法の開発」、「10年先でも競争できる設備機器の導入」、「安全・安心・安定&グリーンな工程で流動させる生産技術力の確立」を目指し、技術を支える人づくり、人材育成にも注力していくことで、2030年度目標の「売上高1,000億円以上 営業利益額100億円以上 営業利益率10%以上」の達成に向けた道筋を描いていきます。

カーボンニュートラルについて

2021年、菅総理(当時)は、日本が2050年度にカーボンニュートラルを目指すことを宣言し、2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指すと表明されました。当社グループでも、この日本の目標値を、そのまま企業の目標として設定しています。さらに当社グループでは、Jクレジットなどのオフセットを利用して4%上乘せし、2030年度50%の削減を目指していきます。既に日本国内では、LED化や太陽光パネルの設置などを進めています。また、海外子会社では、環境面で優位性

のあるNittan(Thailand)で、太陽光発電の積極的な導入を進めています。できるものからコツコツとやっていくことで、2030年度の目標を達成していきます。

株主のみなさまへ

2021年9月、当社は東証の新市場区分でスタンダード市場の選択を決定しました。当社の身の丈を考えると、現段階ではスタンダード市場で業績を上げ、財務健全性を高め、可能なかぎりの配当を継続的にやっていくことを決断しました。2022年3月期(当期)の株主配当は通期11円、2023年3月期(今期)は通期12円を予定しております。

自動車の電動化が叫ばれる中、一時期当社は、衰退していく企業グループとして経済雑誌などで紹介されることもありました。しかし、「NITTAN Challenge 10」を着実に進めていくことで、そういった心配は払拭できると確信しています。

株主のみなさまには、これまでと同様に、未永くご支援を賜りたくお願い申し上げます。



地域への貢献について

当社は地域支援活動、地域に根差した取り組みを行っております。

大会への協賛



2022年3月に開催されたプロゴルフツアー「Honda LPGAタイランド」にスポンサー参画し、大会開催地域への貢献を行いました。

テニスコートの新設



2021年11月にテニスコートを新設しました。一般の方も利用可能とすることを予定しており、健康増進及び地域活性化に繋がる事を期待しております。

公園のネーミングライツの取得



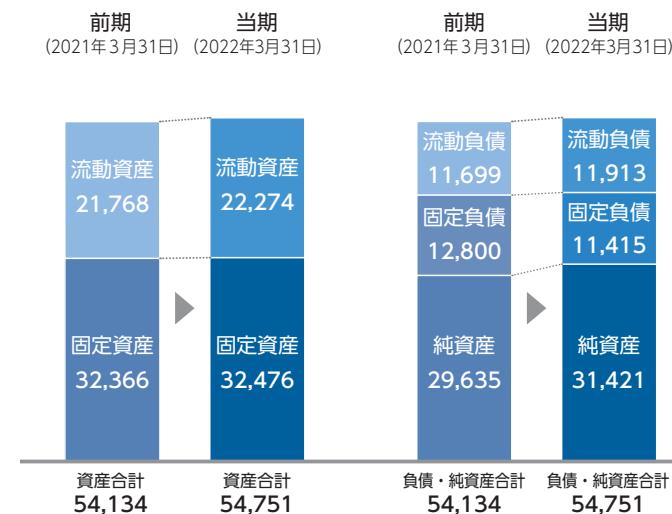
秦野地域への貢献を目的として、おおね公園のネーミングライツを取得し、2022年4月より「NITTAN/パークおおね」に公園の名称が変更されました。

おおね公園は秦野市内でスポーツ施設が最も充実しており、地元住民から愛されている公園の一つとなっております。

連結財務情報

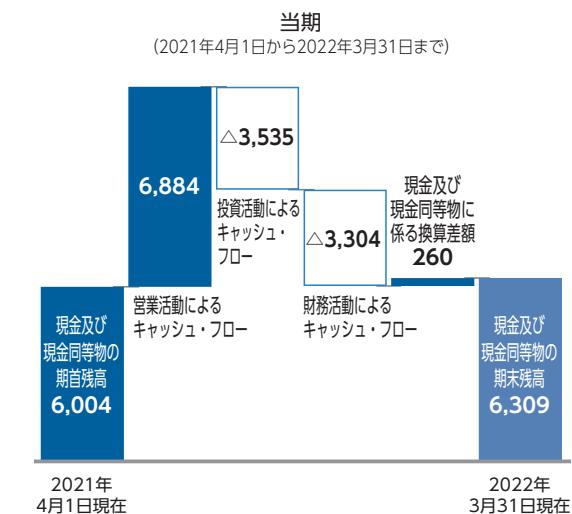
連結貸借対照表

(単位：百万円)



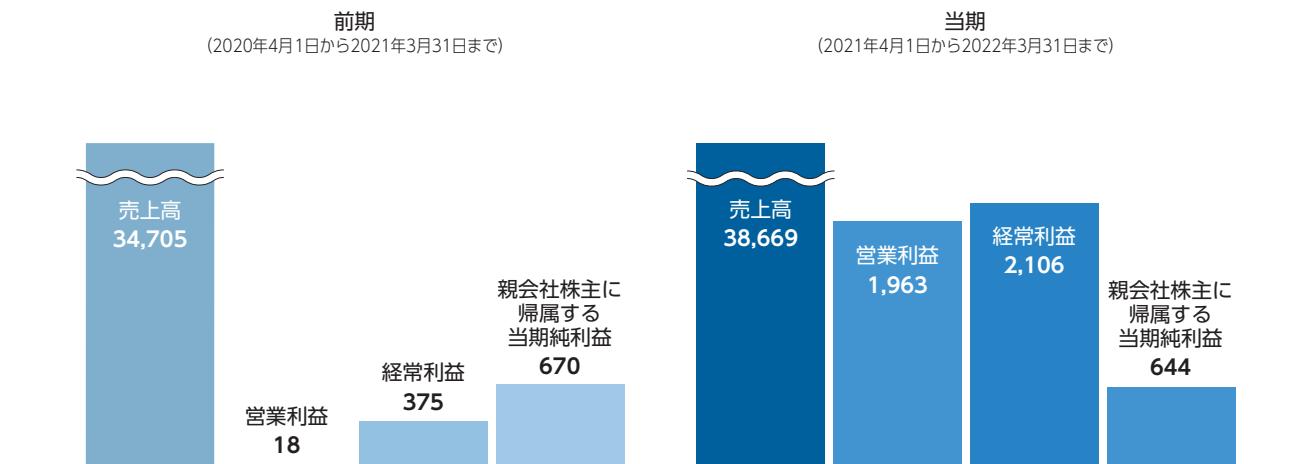
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)



連結損益計算書

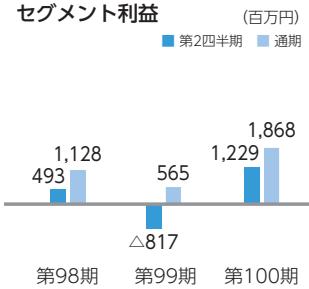
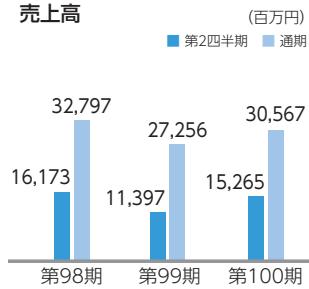
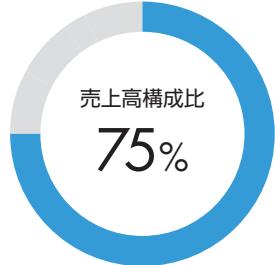
(単位：百万円)



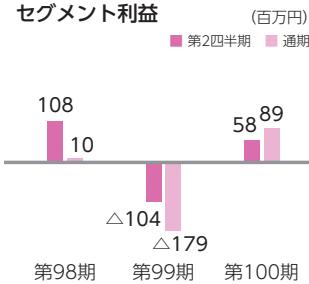
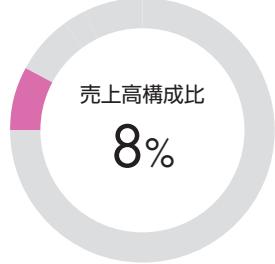
ポイント

- 小型エンジンバルブ事業は、生産調整の影響は一部でありましたものの感染症影響からの回復等により増収となりました。また、国内外事業の受注回復、中国子会社の量産安定化、為替換算の円安効果等により、前年度に比べ大幅な増益となりました。
- 船用部品事業は、感染症影響からの回復等により前年度に比べ増収となりました。また、主力製品の受注回復やコスト削減及び価格改正等により利益計上に転じました。
- 歯車事業は、感染症影響からの回復等により、前年度に比べ増収となりました。また、依然として受注変動が大きく、損失計上であるものの、感染症影響からの回復等により主力製品の受注回復やコスト削減等により損失幅が縮小しました。
- PBW事業は、感染症影響からの回復等により、前年度に比べ増収となりました。また、受注数に見合った価格改正により利益計上に転じました。
- その他事業は、工作機械の増収増益により、損失幅が縮小しました。

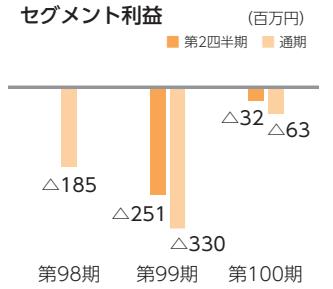
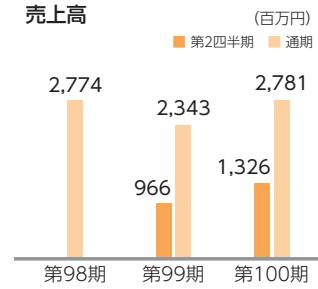
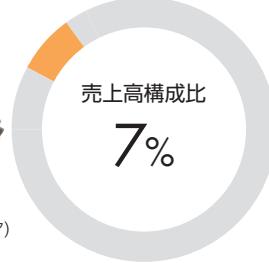
小型エンジンバルブ事業



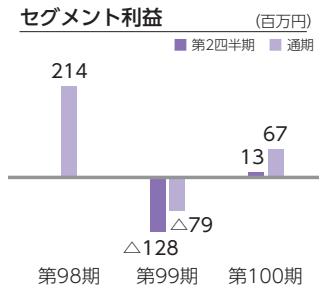
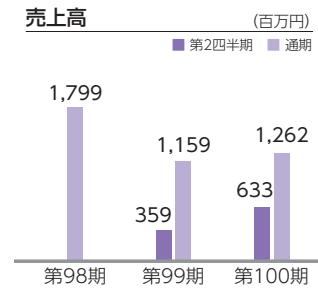
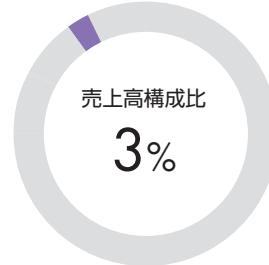
船用部品事業



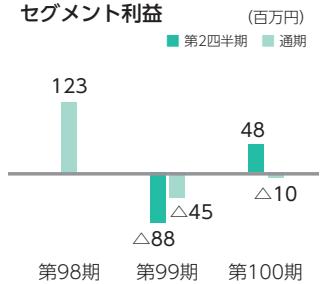
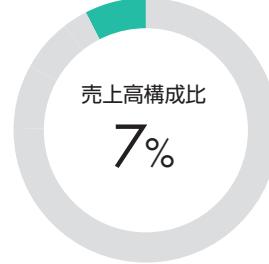
歯車事業



PBW事業



その他事業

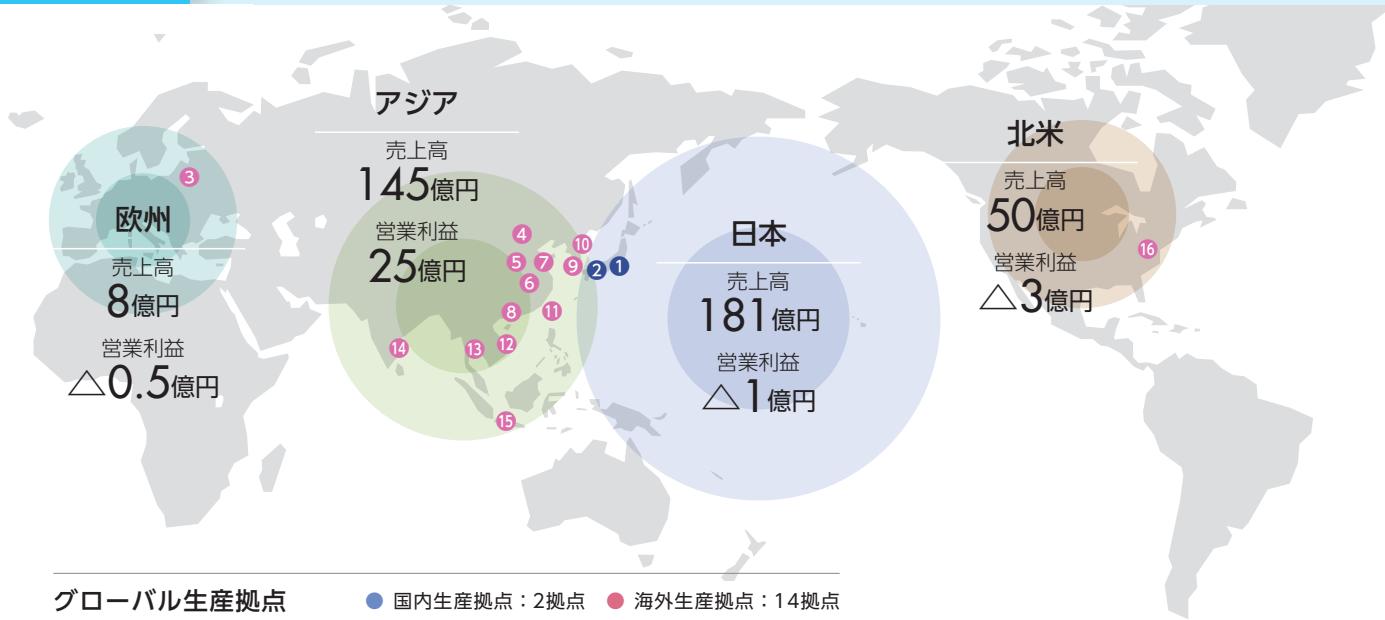
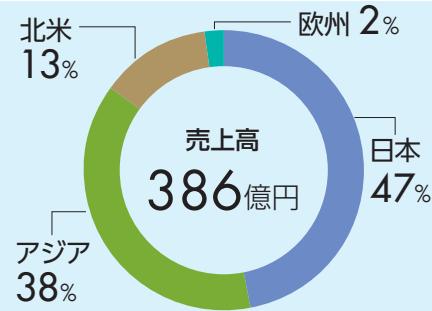


(注) 1. 各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。
 2. 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
 3. 「可変動弁・歯車・PBW」を第100期より独立した区分表記に変更し、可変動弁は「その他」に含めて表示しております。このため、当該事業の第98期第2四半期の金額は記載しておりません。
 4. 「その他」の区分は、可変動弁、バルブリフター、工作機械製造販売、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。

地域別セグメントの概況

ポイント

- 日本では、前年度より増収となるも、半導体不足等の影響により受注は不安定になり、原材料価格や電力料等の上昇により、利益面で黒字回復には至りませんでした。
- アジアでは、ASEAN中心に受注回復が進みました。中国子会社での傘中空弁量産が軌道に乗り、売上・利益両面に貢献しました。為替の影響もプラスに働きました。
- 北米および欧州では、コロナ禍からの回復基調にありますが、半導体不足や原材料価格、物流コストの上昇の影響を受け、為替影響もあり前年度より損益が悪化しました。



グローバル生産拠点

● 国内生産拠点：2拠点 ● 海外生産拠点：14拠点

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| ① 本社工場・堀山下工場(神奈川県) | ⑨ 新和精密株式会社(韓国) ☆ |
| ② 山陽工場(山口県) | ⑩ ケイエヌテック株式会社(韓国) ☆ |
| ③ ニッタン・ユーロ・テック spz o.o.(ポーランド) | ⑪ 台湾日鍛工業股份有限公司(台湾) |
| ④ 北京柳成新和汽車部件有限公司(中国) ☆ | ⑫ ニッタンベトナム Co., Ltd.(ベトナム) |
| ⑤ 日照柳成新和汽車部件有限公司(中国) ☆ | ⑬ ニッタンタイランド Co., Ltd.(タイ) |
| ⑥ 日照艾斯諾汽車部件有限公司(中国) ☆ | ⑭ ニッタンインディアテック Pvt. Ltd.(インド) |
| ⑦ 日照日鍛汽門有限公司(中国) | ⑮ PT.フェデラルニッタンインダストリーズ(インドネシア) |
| ⑧ 広州日鍛汽門有限公司(中国) | ⑯ U.S.エンジンバルブ(パートナーシップ)(アメリカ) |

☆持分法適用会社となります。

(注) 1. 各セグメントの売上高は、外部顧客に対する売上高となります。
2. 記載金額は、億円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会社・株式情報

会社概要

商号	株式会社 NITTAN
本社所在地	本社工場：神奈川県秦野市首屋518番地 東京本社：東京都新宿区西新宿8丁目4番2号 野村不動産西新宿ビル2F
設立	1948年(昭和23年)11月10日
資本金	4,530,543千円
従業員人数	連結 2,542名(2022年3月31日現在) 単体 704名(2022年3月31日現在)

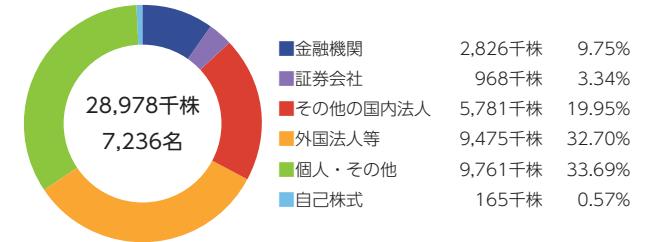
役員一覧 (2022年6月24日現在)

代表取締役会長	金原 利道
代表取締役社長	李 太煥
取締役執行役員	安藤 輝明
取締役	鈴木 隆司
取締役執行役員	栗原 伸元
取締役執行役員	高橋 幸一
取締役(社外)	石垣 和男
取締役(社外)	熊平 美香
取締役(社外)	徳永 健二郎
監査役(常勤)	菊地 浩二
監査役	井上 文雄
監査役(社外)	山田 章雄
監査役(社外)	工藤 光和
上席執行役員	桧村 雅人
執行役員	菊川 春房
執行役員	田中 靖彦
執行役員	村山 誠治
執行役員	遠藤 浩光

株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	89,000,000株
発行済株式総数	28,978,860株
株主数	7,236名

株式分布状況 (2022年3月31日現在)



大株主 上位10名(2022年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イトーヨーコーポレーション	5,017	17.41
KSD-KB	1,376	4.78
株式会社横浜銀行	1,302	4.52
岩谷産業株式会社	1,300	4.51
本田技研工業株式会社	1,233	4.28
日本パーカライジング株式会社	1,098	3.81
PHILLIP SECURITIES CLIENTS (RETAIL)	1,057	3.67
INTERACTIVE BROKERS LLC	538	1.87
株式会社シンニッタン	517	1.79
日鍛バルブ従業員持株会	504	1.75

(注) 持株比率は、自己株式(165,332株)を控除して計算しております。